

研究課題名 カテゴリー分類を導入した腹部超音波検診

本研究は、ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て理事長が許可した研究です。

2012年4月1日から2016年3月31日までの4年間に、当財団の人間ドックで実施された腹部超音波検査の記録画像を用いて、日本消化器学会「腹部超音波がん検診基準」のカテゴリー分類導入前（2012年4月1日から2014年3月31日）と導入後（2014年4月1日から2016年3月31日）で、検査法の工夫・変化があった撮影法・判定区分の違い等について、比較・検討をおこないます。

カテゴリー分類の導入による検査の工夫や技術向上を目指した取り組みについて検討をおこなうことは、検査のレベルアップ、精度評価、そしてがん検診としての有効性評価に繋げることができると期待されます。

本研究における個人情報等の扱いは以下のとおりです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために人体資料の採取は行いません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除し、個人が全く分からない状態で画像の比較を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人を特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者及び分担研究者は、本研究に関する利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについて、ご同意いただけない場合等はお問合せください。

研究責任者：検査部生理機能検査課 竹丸佳織